

「走り梅雨」（はしりづゆ）⇒晴天⇒「梅雨」（つゆ）



日本には、天気に関する言葉がたくさんあります。皆さんがよく知っている「梅雨」もその一つですが、それに似た「走り梅雨」というものがあります。読み方は「はしりづゆ」です。「走り」は、「先駆け」という意味があり、梅雨入りするには少し早い5月中旬から6月上旬にかけて、本来の梅雨に先駆けて梅雨を思わせるような天気が続くことを言い、「迎え梅雨」や「梅雨の走り」と呼ぶこともあります。「走り梅雨」の原因は、5月中旬から下旬にかけて、沖縄地方が梅雨入りし、本州南岸に前線（暖かい空気と冷たい空気の境目のこと）が停滞することがあるためです。この前線の影響で、梅雨入り前にぐずついた天気が続くわけです。通常は、走り梅雨の後一旦天気は回復し、しばらく晴天が続いてから本格的な梅雨に入りますが、その年によっては、走り梅雨が長引いてしまい、そのまま梅雨入りすることもあるようです。

また、走り梅雨は、日本独特の気象現象なので、そのまま英語で表現することは難しいわけですが、梅雨は「the rainy season」ですので、「a rain continues in advance of the rainy season」ということになりそうです。

「走り梅雨」と「梅雨」の間には、晴天が続くのが一般的ですが、長引けばそのまま梅雨に突入するというので、それだけ雨の日が多いということです。本格的な梅雨になる前に、ぐずついた天気が続くというのは、考えると少し憂鬱な気持ちになってしまいますが、雨の日でも楽しめることを見つけて、この時期を楽しく乗り切りたいものですね。



田植え体験 秋の収穫が楽しみ！

5月29日（水）、野村康治さんの水田をお借りし、保護者の方にもご協力いただきながら田植え体験をしました。ここ数年、児童数が急増しているため、この行事も見直され、縮小の動きもありましたが、保護者や地域からの強い要望があり、昨年度に引き続き全校児童が参加して行われました。初めて田植えを行った1年生は、5・6年生の上級生に教わりながら一生懸命に苗を植えました。また、昨年度経験している2年生以上の児童も負けずに頑張りました。子どもたちは、常南学区ならではの貴重な体験ができました。自然薯の植え付けに続き、野村康治さんご家族には大変お世話になりました。本当にありがとうございました！



♥ Happy Birthday 5/31・佐野 裕輝君 5/31・青山 早苗先生（教員補助）